

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

7年 8月 27日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 中元組
所在地	〒940-2502 新潟県長岡市寺泊松沢町9353番地14
代表者役職・氏名	代表取締役社長 川上 邦明
担当者連絡先	電話：0258-75-3151
	メール：kenichi-takahashi@nakamotogumi.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.nakamotogumi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は明治5年(1872年)創業、昭和28年(1953年)株式会社設立、以来地域に根差し、港湾事業、土木事業、建築事業の3分野を展開する総合建設業として社会のインフラ整備に携わり、令和4年(2022年)に150周年を迎えました(その翌年で株式会社設立70周年)。</p> <p>弊社の特徴は、新潟県下最大規模の工事用船舶を中心に、3つの起重機船団を自社で保有していることです。そしてその業務内容は、防波堤や防砂堤の築造、老朽化する岸壁の改修、航路の安全性を確保するため海底の土砂を掬い取る浚渫、海岸の浸食を防ぐ消波ブロックの設置など、港湾の中で関係する様々な工事を行っており、この分野は当社の根幹となっています。弊社は、『建設を通じて社会の繁栄に貢献する』という経営理念のもと、海上交通と海岸に接する地域の安全を守るべく、鋭意業務を行っております。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	・当社拠点がある地区での海岸清掃、ボランティア活動の強化に取組む ・防災、減災対策事業、災害時の緊急対応	・海岸清掃活動回数 【現状】年3回 【目標】年4回
□環境 ✓社会 □経済	・資格取得支援制度をさらに充実(奨励金増額、対象資格増)させ、技術力向上に繋げる ・若手求職者向け土木港湾インターンシップ開催	・取得強化資格保有者数(1級管工事、1級舗装、解体工事、Jコールド診断) 【現状】11名 【目標】15名 ・現場技術員に占める30歳未満人数の割合 【現状】16.6% 【目標】20.0%
□環境 ✓社会 ✓経済	・週休2日制適用工事数の一層の増加に取組む ・DX化(請求書、発注書、経費精算、原価管理等)により、時短、ペーパーレス推進に取組む	・年間の週休2日制適用工事数 (→対象金額25百万円以上) 【現状】年25件 【目標】年26件

(次項へ続く)

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・社有車一部のハイブリッド車への随時切り替えや電気機器や空調、照明などの節電、LED化にも取り組んでいる。								7.2 7.3				12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・化学物質を取り扱う作業については、法令に従ってリスクアセスメントを実施している。			3.9				6.3				11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している								6.6							15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる								6.4 6.6										
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9				6	7				12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・防災、減災対策やリサイクル、省エネ推進、清掃活動等地域貢献など、環境への配慮に関する取り組みを弊社HPにて公開している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる									7.2					13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・安全衛生委員会を毎月実施しているほか、毎年安全大会を開催し、協力企業も含めた現場管理での表彰を実施している。			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・お客様満足度達成のため、ISO9001(品質マネジメントシステム)の継続的改善に取り組んでいる。 ・ICT技術を積極的に取り込むことにより、一層の生産性向上を目指している。 ・【予定】建設DX化を推進し、電子化による品質向上、時短、ペーパーレスに取り組んでおり、今後も拡充していく。			3						8	9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる								6					12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・防波堤や防砂堤の築造、航路の安全性を確保するための浚渫、海岸の浸食を防ぐ消波ブロックの設置など、港湾における様々な工事で貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4						9	11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・各地域と連携して海岸清掃を行ったり、地元のボランティア活動に参加、さらに地域の花火等イベント時には協賛も行っている。				4							11			14	15	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している										8	9	11	12	13				

